

食品を集める。送る。 子どもの未来になる。

1 救食箱に食品を集める。
家庭や職場に救食箱を置いて、
ご不要の食品を集めてください。
特に下記のものを受け付けています。

米(白米、玄米、アロファ米)・総菜(パスタ、煮物など)・缶詰、瓶詰、レトルト食品、
インスタント食品(ラーメン、スープなど)・調味料(しょうゆ、みそ、食用油など)のり、
ふりかけ、お菓子類、お菓予など(食品表示用食品「賞味賞、消費期限」など)
※未開封、常温保存可能、生鮮食品は除く。賞味賞・消費期限が1ヶ月以上あるものをご希望いただけます。

2 梱包して食品を送る。
食品が集まったら、フードバンク関西
までお送りください。

※お送りいただいた食品によっては、子どものいない世帯に
お渡しすることもございますので、予めご了承ください。
〒658-0021 神戸市東灘区深江本町1-8-16-101
TEL.078-855-7025
※寄附の場合、送料費用は寄付者様のご負担をお願いしています。(郵送
委託を、日曜日と祝日を除く日の午前中でお届けいたします。)※産物のご購入は、
日曜日と祝日を除く日の9:30-15:30(土曜日は9:30-13:30)にご来社ください。
※詳しくはフードバンク関西までお問い合わせください。

救食箱で、 食べきれない食品を、 食べられない子どもたちへ。

家庭では年間およそ289万トン*1の食品ロスが発生している。
一方で、約7人に1人*2の子どもが、貧困状態にある。

「食べきれない」のに、「食べられない」。
これは、どこでもない、日本の話です。

使わない食品に、子どもを救うという使い道ができれば。
フードロスが減る。子どもの笑顔が増える。
まさしく、一食二鳥になる。

救食箱。
それは、食品を、子どもの未来につなげる箱。

ごはんがあると、
子どもの毎日に余裕が生まれます。
そして学ぶ気持ちが生まれ、未来へ進むチカラが生まれます。

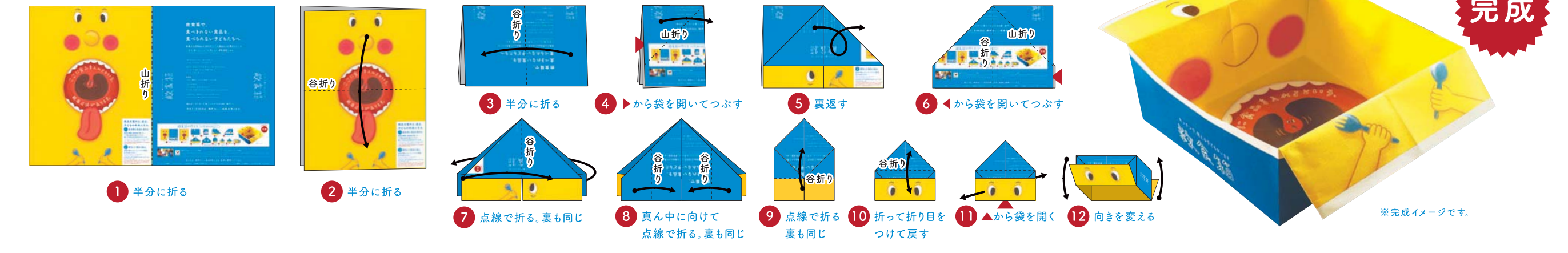
ゴミ箱の前に、救食箱に入れることを考えてみる。
そんなやさしさの輪が、神戸から広がりますように。

誰もが、すくすくと育つことのできる街・神戸へ。
今日11月30日は、神戸のいい未来を考える日。

キッチンで、救える子どもがいます。
救食箱

キッチンで、救える子どもがいます。
救食箱

救食箱の作り方



認定NPO法人 フードバンク関西
企業などから寄付いただいた食品を、福祉施設や団体に無償で分配し、さらに行政を通じて緊急の食糧支援も
しています。また、他のNPO法人と協働しての要支援母子世帯へのサポートや、子ども食育ネットワークの活動も手
がける食の支援団体です。 <https://foodbankkansai.org> 〒658-0021 神戸市東灘区深江本町1-8-16-101

子ども元気ネットワーク関西
支援を必要とする母子世帯に、生活相談と学習サポートを行い、衣類・食糧を提供しています。「ウィメンズネットこうべ」
「フリーヘルプ」の学園「ケアット」と食糧支援を担当する「フードバンク関西」、5つのNPO法人の協働事業です。
フードバンク関西は約40世帯に毎月1回、食品を宅配便で届けています。

1 1 3 0
私たちは「神戸のいい未来を考える日」企画に賛同しています。

エム・ヴィ・エム商事 / サンテレビジョン / 大丸神戸店 / 通電西日本神戸支社 / パンドー化学 / ヒラキ / フジッコ / ラジオ関西 / 和田興産 / Kiss FM KOBE (五十音順 敬称略)